



## 避難訓練（地震） 自分の命 みんなの命を守るために

昭和58年に発生した日本海中部地震の教訓を踏まえて設定された「県民防災の日」、秋田県内陸南部を震源とするM6.0の大地震を想定して命を自分で守るための学習をしました。

避難訓練では、自分の身を守るシェイクアウト訓練（まず低く、頭を守る、動かない）と、「お・か・し・も」（おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）の鉄則を守り一斉避難しましたが、避難完了まで2分53秒。真剣な態度ですばやい行動でした。

いざという時、命を守る行動は年齢を問わず必要です。主体的な判断と行動が求められます。今後、クマ対策や火災の避難訓練を

実施しますが、休み時間など職員が近くにいる場合を想定し、自分の命を守る判断力・行動力を養っていきます。ご家庭でも、お子さんが一人である場合など、様々な状況について話し合ってみてはいかがでしょうか。



## 合同引き渡し訓練 引き渡しが難しい場合には

保護者の皆様におかれましては、お仕事がある中、合同引き渡し訓練にご協力いただきありがとうございました。「震度5強以上の場合に引き渡し」と4月にお知らせしていますが、大地震の場合、学校、自宅、勤務先付近の道路陥没、建物倒壊、火災、通信手段不通など引き渡しが難しい場合があります。

職員は、危機管理マニュアルに沿い、状況を判断して、子どもの命を守ることを最優先に動きますが、保護者の皆様にも状況に応じた判断をお願いすることになります。

身動きがとれないケースでは、次のスタンスを基本と考えていますが、こんな場面ではどうする？こんな方法はどうか？など、まだまだたくさん考えを深める必要があると思います。お気づきになりましたら、遠慮なくお知らせください。子どもたちの命を守る手段をともに考えていきましょう。



**身動きがとれない（道路状況×、通信手段×など）⇒「無理に動かない、動かさない」**

### 学校にいる場合

- ・保護者の迎えまで職員が子どもと安全な場所で待機し、心の安定を図る。
- ・道路状況等で迎えが難しい、連絡が取れないなど、避難が長引く場合は、学校備え付けの非常食で対応するとともに、避難所が開設され次第、速やかに移動し、子どもの心と体の健康確保に努める。
- ・倒壊の恐れなど本校が避難所として適さない場合は、道路状況等の安全確認した上で、別の避難所に移動する。その際、通信手段使えない場合は、建物から離れた学校周辺への看板設置や貼り紙等、保護者に居場所を知らせる手段を様々な面から検討して行う。

（裏へ続く）

### 家庭にいる場合(登校日)

- ・登校日であっても、学校から登校可の連絡がない場合は登校しない。
- ・学校から登校可の連絡があっても、家の周辺や通学路に危険がある場合は登校しない。

### 登校中

- ・揺れが収まるまで、道路陥没や倒壊等の恐れがない場所で身を守る行動(まず低く、頭を守る、動かない)をとる。
- ・揺れが収まったら、近くの家に助けを求め、保護者との連絡が取れるまで待つ。
- ・家(学校)が近い場合であっても、道路が危険な場合は近づかない。

西木地区の指定緊急避難場所(洪水、崖崩れ、土石流及び地滑り、地震、大規模な火事、火山現象)

仙北市役所西木庁舎、西木総合開発センター、西木コミュニティセンター※、西木コミュニティセンター体育館※、活性化施設かたくり館※、西木温泉クリオン※、西明寺中学校、西明寺小学校※

本校をはじめ、※は「洪水」の避難場所から除外されています。

### 仙北市の防災に関するお知らせ登録

市の安心・安全メール登録



仙北市公式LINE



### 避難訓練ふり返しシートより

2年 M.H さん

きょう、ひなんくんれんで、「お・か・し・も」をちゃんとまもり、れいせいにひなんしました。ほんとうのじしんのときも、れいせいに「お・か・し・も」をちゃんとつかいたいです。

3年 H.T さん

「お・か・し・も」のやくそくを守っておちついてひなんできました。家や学校、先生がいない時にもおちついてこうしたいです。ひなんのたいせつさがわかりました。

4年 M.F さん

けがをしても、落ち着いてひなんできたのでうれしかったです。今年のひなんくんれん(地しん)では、一つ新しい勉強ができました。

4年 H.A さん

ぼくは、頭を守って建物からはなれるといいと思ったので、もし、じしんがきた時にこのことをしようと思いました。

⇒いろいろな場面を考え、自分で気付いているみなさんはとても立派です。近くに大人がいない時もあります。これからも、あわてずに自分で考えることを大切にしていきましょう。

